

セキュリティー対策委員会

置き引き対策案で協力 日遊協案と 全日遊連案

第84回セキュリティー対策委員会（委員長・山田久雄日遊協副会長、全日遊連、日遊協、日工組、日電協、全商協、回胴遊商、自工会で構成）が2月23日、日遊協本部会議室で開かれた。

日遊協、全日遊連から、置き引き防止対策マニュアル素案の途中経過が報告された。日遊協の素案では、特定チェーン店での過去1、2年の盗難・窃盗の発生状況、件数、時間帯などのデータ分析が行われている。双方の素案を一本化し、遊技産業活性化委員会として早急にマニュアルを完成させることを確認した。

また、日電協、回胴遊商が「遊技業界が取り組む『闇スロ撲滅』活動（案）」を報告し、同

じく活性化委員会で協議、完成させることになった。

置き引き、闇スロ問題に関しては、さる1月14日の6団体代表者会議に警察庁保安課、大門雅弘課長補佐が出席し、「置き引き対策の取組」

「AT、ART機等の闇賭博流出を防止する取組」に「射幸性の抑制に関する更なる取組」を加えた3つの取組について、迅速・的確に検討できる方法・進め方の再考を強く要請していた。

PSIO（遊技産業不正対策情報機構）の投稿内容の一部を、県遊協に通知できないかとの提案があった。現状では、投稿内容は都道府県警に通知され違法行為の摘発に使われているが、明らかな違法行為とまで行かない程度の内容は県遊協に知らせて県遊協の段階で処理する仕組みを想定している。業界の自浄作用が推進され、警察の負担軽減にもなるとしているが、本来のPSIOのあり方から慎重論も強く、不正対策室会議で検討することになった。

PSIO・不正対策室会議 店員の振る舞いなど

不正対策室会議（室長・伊東慎吾 日遊協常務理事）は2月19日、日遊協本部会議室で委員ら15人が出席して開かれ、PSIO（不正対策情報機構）への入力状況の報告を行い、ゴト・不正情報について協議した。

2014年12月のPSIOオーブンネット（業界及び一般ファンからの不正情報）は570件。業界から27件、一般ファンから543件の入力があり、2014年1月と比べると121件減（2014年1月691件）となった。

ゴト情報では、パチスロの未遂を含めた電磁波ゴトが目立ち、パチンコではローゴトの報告が多い。不正情報では、遠隔操作だとするものが中心だが、店員の振る舞いや対応を違法とするものも多かった。

ゴト対策4団体会議

「玉掛かり」多数報告

第55回ゴト対策に関する4団体会議は2月5日、東京・市ヶ谷の遊技会館で開かれ、全日遊連、日電協、日工組、日電協のほかオプザバーとして全商協、回胴遊商、

電遊協などから47人が出席した。パチンコでは「海物語」「北斗の拳」「呪怨」関連の玉掛かりゴトなどが報告され、パチスロでは「鉄拳」「化物語」関連の電磁波ゴトが説明された。また、電磁波ゴト、セルゴトについて画像で詳しい解説が行われ、店舗外壁をくり抜いた「サブ制御基板不正交換」のケースも紹介された。それぞれについて、意見交換され今後の対策が練られた。



3月の行事予定

3日(火)	10:00~17:30	店長・管理職能力開発講習(東京)
4日(水)	10:30~12:00	遊技産業PRWG
	16:30~17:30	自己申告プログラム
5日(木)	15:00~17:00	依存問題PT
6日(金)	15:00~17:00	風営法PT
7日(土)	11:00~19:00	ぱちんこ産業合同説明会(リクナビLIVE)
12日(木)	15:00~	中古機流通協議会(全商協)
13日(金)	13:00~15:00	社会貢献・環境対策委員会
16日(月)	16:00~17:00	パチンコ・パチスロ産業21世紀会(ホテルメトロポリタンエンド)
17日(火)	15:00~17:00	遊技機委員会
19日(木)	11:00~13:00	政策検討連絡会
	13:30~16:00	理事会
	16:30~	理事会記者会見
20日(金)	13:30~14:30	不正対策室会議
26日(木)	15:00~17:00	東京・関東支部セキュリティー対策部会
30日(月)	14:30~16:30	遊技産業活性化委員会(全日遊連)
31日(火)	13:30~14:30	リサイクル推進委員会(日電組)

MARCH

遊技産業新経営者会議

トップの在り方と戦略 阿部洋己氏が講演

第8回遊技産業新経営者会議(担当理事・韓裕副会長、リーダー・西村拓郎理事)が2月26日、東京・丸の内(株)マルハン本社会議室で開かれ、日遊協会員企業の若手経営者・幹部28人が出席した。2つの講演後は、懇親会で業種、企業の壁を越えて親交を深めた。一つ目の講演は、「キリンで学ん

だマーケティング志向と経営」と題し、元キリンビバレッジ(株)代表取締役社長で現在阿部経済研究所所長の阿部洋己氏が行った。阿部氏は「会社は社長の器以上に大きくならない」と語り、経営者が自らの器を大きくするためのステップとして、①異業種に学ぶ ②3つの「こころ」(情・心・志) ③変え

一般社団法人遊技産業健全化推進機構

河上和雄代表理事が死去

一般社団法人遊技産業健全化推進機構の河上和雄代表理事が2月7日、死去した。81歳。告別式は同月12日、東京都港区南青山、青山葬儀所で執り行われた。喪主は長男、和寛氏。河上氏は東京地検特捜部時代にロッキード事件の捜査に加わり、特捜部長、最高検公判部長を歴任した。退官後は弁護士、大学教授やテレビのコメンテーター等を務めた。

書の提出による全国規模の立入検査の実施で、パチンコ・パチスロ産業の健全化を進めてきた。告別式には業界から多数の関係者が弔問した。伏見専務理事が暫定の代表理事に



河上和雄代表理事の肖像写真

伏見専務理事が暫定の代表理事に

一般社団法人遊技産業健全化推進機構は2月12日、緊急理事会を招集し、死去した河上和雄氏の後任の代表理事について審議、専務理事の伏見勝氏を満場一致で代表理事に選任した。同氏の代表理事選任は、組織としての事務手続き

る勇氣、変えない勇氣——等について説明した。また、顧客志向のマーケティングでは、ハーレーダヴィッドソンを例に挙げて、「バイクを売るのではなくハーレーに乗る楽しみ(価値)を売ろうとしている」点を称賛した。第二部では、人気の缶コーヒー「ファイア」の開発から市場導入までの流れを詳しく興味深く解説した。

貯玉補償基金理事会
補償など3議案承認
全日遊連、理事就任を受諾

一般社団法人貯玉補償基金(代表理事・庄司孝輝日遊協会長)は2月12日、日遊協本部会議室で第60回理事会を開き、3議案を審議した。

第1号議案は、(株)時空の補償実施に関し1件追加の実施結果を確認し承認した。第2号議案は、平成27年度のスケジュールについて審議した。6月12日の定時社員総会をはじめ理事会等の日程を承認した。第3号議案は、貯玉補償基金の広告掲載について広報誌「日遊協」への実施を承認した。

貯玉補償基金は全日遊連に対し当基金の理事就任を要請していたが、全日遊連から経営委員会担当の平川容志副理事長を理事として就任させる旨の連絡があった。平川氏就任は、6月の定時社員総会で承認する。



途絶えることなく葬列が続いた河上和雄氏の告別式

サンキョー(株)従業員の2人を表彰

AED使い必死の救命

駐輪場で心肺停止の男性救う

東京消防庁と立川消防署は2月

5日、サンキョー(株)SAP立川店の可児真澄さん、川本真由美さんの2人に人命救助の感謝状を贈った。

可児さんは同店の主任。昨年12月30日午後8時ごろ、お客様から「駐輪場に人が倒れている」と連絡を受け、駆け付けると意識・

脈・呼吸がない60代くらいの男性を発見。インカムで店内に連絡し救急車を手配するとともに、スタッフが運んできたAEDを使って川本さんと心臓マッサージ・人工

呼吸を続けた。

さらに居合わせた女性のお客様も人工呼吸に加わり、男性は到着した救急車に引き渡された。その間、5、6分の出来事だった。翌日、男性の家族がお礼に見え、助かったことを知った。その後男性は社会復帰した。

感謝状は、可児さんには消防総監名で、川本さんには立川消防署長名でそれぞれ贈られた。

「よく体が動いた」と

可児さんの話「振り返ると、よく体が動いたなと思います。無我夢中で「助けなければ」という使命感だけでした。職場の皆が連携して対応した。後日、救急隊の方から、初期対応が良かったといわれ、店の一体感を褒められたように嬉しかったです」

「講習が生きました」

川本さんの話「救急車対応は何度か経験がありますが、AED使用は初めてでした。説明書を現場で読んで頭に入っていないで

The screenshot shows the homepage of the NICHYUKYO (Japan Amusement Industry Association) website. A prominent red banner across the middle reads "遊技業界データベース 随時更新中" (Amusement Industry Database is being updated at any time). The page features several news items, including "遊技機取扱主任者講習・試験のご案内" (Notice of Amusement Machine Operator Training and Examination) and "遊技機取扱主任者講習・試験のご案内" (Notice of Amusement Machine Operator Training and Examination). A hand icon points to the "遊技業界データベース" (Amusement Industry Database) link.

も講習で習った経験が役に立ったように、緊急事態の最中なのにするべきことがポンポン頭に浮かんできました。救命講習はやっておくべきだと強く感じました」

登録資格審査委員会

3業者の登録取り消し

新規3、更新91業者を適合

平成26年度第3回登録資格審査委員会(委員長・庄司孝輝)日遊協会長。全日遊連、日遊協、日工組、日電協、全商協、回胴遊商、有識者

で構成)は2月16日、日遊協本部会議室で開かれた。新規申請3業者(全商協関係2、日工組関係1)、更新申請91業者(全商協関

係51、回胴遊商関係40)をそれぞれ適合とした。

非組合員にハンデイスキャナー、組合員証、携帯電話を貸し与えたり、非組合員の従業員を自社の従業員と偽るなどして点検・確認をさせ、中古機流通に関わる違反をした3業者について、遊技機販売業者登録に関する規程第13条(取消し及び効力の停止等)第1項第2、第3号を適用して登録を取り消した。

登録取消しの3業者次の通り。(有)スロト(代表者・田中英雄、神戸市)▽有)東信サービス(同・矢部雄一、札幌市)▽株)スカイサービス(同・柳館秀仁、札幌市)



感謝状を手に可児さん(右)と川本さん(左)。中央は石川孝政立川消防署長

東京都・関東支部役員会

新たに「会員交流・研修会」

今年度は8月5日に開催



「会員交流・研修会」の開催を決めた東京都・関東支部役員会

日遊協東京都・関東支部役員会が2月25日、本部会議室で開かれ、西村拓郎支部長以下13人が出席し、平成27年度の活動について協議した。新たに支部の「会員交流・研修会」を8月5日に開催することを決定した。前回の役員会で、会員のスキルアップと交流をより深めようと提案されもので、会員のアンケートをとった結果、賛意の声が多く、当年度1回開催することになった。その他「皇

居勤労働奉仕」などの行事の確認を行った。

北海道支部

児童施設訪ねて慰問

(株)ビクトリア観光と北海道大学

日遊協北海道支部の(株)ビクトリア観光(松谷明良社長)は1月24日、北海道大学アカペラサークルNoSeRAと合同で児童養護施設「札幌南藻園」を訪問した。同園は幼児から高校生まで57人が入園しており、大場信一園長によると約9割が児童虐待を受け精神的なケアが必要とされている。

(株)ビクトリア観光では社会貢献活動の一環として、毎年同園を訪問しているが、今回大学サークルとの合同企画が実現した。松谷社長以下ホール関係者らが参加し、当日居合わせた乳児・小学生20人の園



(株)ビクトリア観光宮の沢店石川支配人から入園者に寄贈

児にお菓子、ジュースなどを贈り、サークルが童謡を含めたアカペラライブで子供たちを喜ばせた。ライブのあと、体育館において入園者とサークル学生との「鬼ごっこ」「ドッジボール」「ピアノ演奏」などが行われ、笑顔と笑い声が響き、1日を楽しんだ。

関連団体で賀詞交歓会

北海道遊技関連団体賀詞交歓会が1月28日、札幌市の京王プラザホテルで開かれ、日遊協北海道支部、北海道防犯協会、北海道遊協連合会、北海道遊商、回胴遊商北海道支部から129人が参加し、賑やかに新春を祝った。

中村和利北海道遊協連合会理事が主催者の挨拶をし、盛大に鏡開きが行われ和やかな歓談の時を過ぎた。日遊協北海道支部の松谷明良支部長が中締め挨拶をした。

9月30日総会など決定

北海道支部は2月13日、札幌市の(株)ビクトリア観光会議室で役員・会員連絡会議を開き、松谷明良支部長以下11人が出席した。平成27年度支部活動として、9月30日の総会開催をはじめボランティア

ア活動、交流活動への参加を決め、日程を確認した。伊豆副支部長からECO遊技機について、高石隆一会員からメダルの持ち出し、持ち込みゴトについて報告があった。

中部支部

賑やかに新年祝賀会

中部支部新年祝賀会が1月20日、名古屋ガーデンパレスで開かれ、山口悟支部長以下51人が参加した。山口支部長は「若者のパチンコ離れが進む中、業界は社会からも注目されることが多くなってきた。厳しい現実があるからこそ、依存問題や不正に対する対策が特に重要で、支部も一丸となって取り組んでいきたい」と決意を込めてあいさつした。来賓として庄司孝輝日遊協会長が「依存対策は具体的に、1店舗に1人は対応できる人材を作るよう取り組みたい。4月からは、各支部でスタッフ教育の講習会を開く予定だ。やることはやり、言うことは言う《行動する日遊協》でこれからも理解をお願いしたい」と挨拶した。

愛知県遊協の西原英烈理事長の祝辞などのあと、賑やかに懇親の会が進行した。

中国・四国支部

役員会と互礼会

日遊協中国・四国支部は1月30日、メルパルク広島で役員会と新年互礼会を開いた。

役員会は後藤信行支部長以下15人が出席し、平成26年度事業報告を行い平成27年度事業計画案を検討した。広島県警察本部生活安全部生活安全総務課の三好清志係長が「遊技業界にまつわる最近の動向」と題して講話を行い、健全化を阻害する要因などに言及しながら「遊技業界を取り巻く環境は厳しい。今こそ日遊協が中心となって、三方良し(ホール、メーカー、世論の支持)の精神で適正化、健全化に努めてほしい」と強調した。会員拡大策などについてフリートーキングを行い、警察庁の要請には早急に対処することを確認した。

九州支部

「オーブン執行会」など 現状の諸問題など検討

日遊協九州支部は1月22日、福岡遊技会館で執行部連絡会、

オーブン執行会と新年会を開催した。

執行部連絡会は樋口益次郎支部長以下役員14人が出席し、4月9日に開かれる支部総会について、役割分担、対談設定、懇親会などについて協議した。他支部との交流を兼ねた持ち出し執行会、9・9の「大清掃」の実施についても内容を検討した。オーブン執行会は樋口支部長はじめ支部会員も参加して32人で、「活性化プロジェクト」「京都府警摘発事案」など現状の諸問題について討議した。

最新ゴトの講演聞く

日遊協中部支部は1月29日、名古屋市ライリス愛知で「中部支部セキユリティー対策部会」を開き、山口悟支部長はじめ対策部会、中遊商の船戸良徳七対策委員長ら25人が出席した。

(株)ジーティネットの豊島光宏課長が「最新の不正事案と対策」と題して講演し、道具系のゴト、セルゴト、電磁波ゴトなどについて実機を使って解説した。70分の講演のあと、懇親会を開き情報交換した。

愛知県ゴト情報対策協議会

愛知県ゴト情報対策協議会が2月3日、愛知県遊協役員室で開かれ、日遊協からは山口悟

支部長以下5人が出席し、愛知岐阜、三重の県遊協と合わせて12人がゴトに関する情報を交換し、対策協議を行った。

三洋物産社長

金沢全求氏が就任

(株)三洋物産は2月の取締役会で、金沢全求氏の取締役会長就任に伴う後任の代表取締役社長に金沢全求氏(代表取締役副社長)を決めた。金沢全求氏は現日工組理事長。

警察人事

警察庁人事(1月30日)内閣官房に派遣(副長官補付)(生活安全企画課補佐)玉川達也

会員・業界消息

●本社移転

株式会社ジーティネット
さいたま市大宮区桜木町
1・11・7東通ビル6階
TEL0120・189・5110
FAX048・871・9943

●組織変更

株式会社アクティ
有限会社から株式会社に変更
11月21日

●代表者変更

株式会社福島製作所
代表取締役社長・福島征吾
11月2日

平澤黎哲氏が死去

元同友会副代表理事

(株)山水取締役会長、平澤黎哲氏が2月22日午前9時55分、病氣療養中のところ死去した。59歳。葬儀は親族による密葬を執り行い、改めて3月27日午後4

時、新宿京王プラザホテル本館5階コンコードボールルームで「平澤黎哲お別れの会」が開かれる。平澤氏は同友会で副代表理事を務めた。また、日遊協では2010年から14年まで監事を務めたほか、社会貢献・環境対策委員会委員として活動した。

DATA SPOT

この1年間で310店舗も減少した

全日遊連は2月19日、店舗数、遊技機台数の2015年1月分を発表した。店舗数は前年12月(10661店舗)と比較して23店も減っている。12月恒例の出店攻勢の反動が出たといえよう。1万638の店舗数は年間ベースだと昨年1月(1万948店)と比較して、この1年間310店舗マイナスで、大きな落ち込みとなっている。

遊技機では、パチンコが1年間でマイナス6万1080台(昨年1月276万1076台)と下がり、一方パチスロ機はプラス2万4645台(昨年1月187万2689台)と相変わらず前年を上回っているもののマイナス圏に突入の心配が大きくなっている。

<注>店舗数、及び遊技機台数は各月の末日現在の数。表中の「その他」はアレンジボール、じゃん球、スマートボールを意味する。

貯玉補償基金加盟状況

	店舗数	前月比
北海道	268	+1
東北	592	0
東京	614	-1
関東	1771	+4
中部	572	+1
近畿	978	+5
中国	326	+1
四国	170	+1
九州	672	+4
全国計	5963	+16

(2015年1月31日現在)

全日遊連加盟店舗数・遊技機台数

平成27年	営業店舗数	新規店舗数	廃業店舗数	休業店舗数 (当月発生分)	遊技機台数			総台数
					ぱちんこ遊技機	回胴式遊技機	※その他	
1月	10,638	13	33	135 (20)	2,699,996	1,507,334	156	4,207,486

リカバリーサポート・ネットワーク 相談累計が1万5千件を超す

パチンコ依存問題の相談機関であるリカバリーサポート・ネットワーク(RSN)は、相談活動の広報として、機関誌「さくら通信」を発行している。第94号に今年1月の相談データが掲載されており、相談実態がよく理解できるので紹介する。

2015年1月の電話相談

1月の相談件数は、209件でした。前月比では11件増加しましたが、2014年1月と比べると65件の減少となりました。相談件数はパチンコホールの稼働と関連することも多く、寒波や大雪など天候の影響も考えられます。また、1月には全国紙にいわゆる「ギャンブル依存症」の記事が掲載されましたが、電話相談への影響は家族か

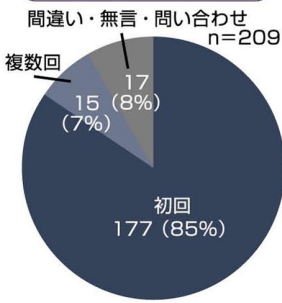
らの相談が若干増加した程度に収まりました。RSNが普段紹介している相談機関や当事者活動の情報が記載されていたこともあり、他の相談先の情報が社会的に浸透していることもRSNの相談件数の減少につながっているかもしれません。2006年4月開設からの総件数は、2015年1月末に1万5000件を突破しました。

家族、友人がやや増加

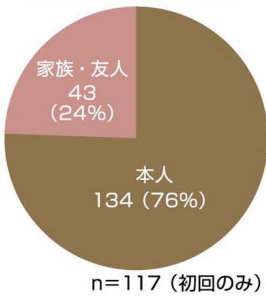
①相談回数：初回相談は177件(85%、前月比▲7件)、複数回15件(7%、前月比▲7件)、間違い・無言・問合せ17件(8%、▲9件)でした。間違ひ・無言・問合せが20件を下回ったのは2012年8月以来です。

②コーラー関係性：初回相談の内訳は、本人134件(76%、前月比

①相談回数



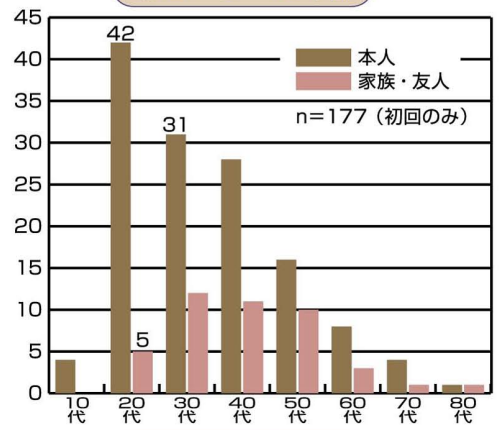
②コーラー関係性



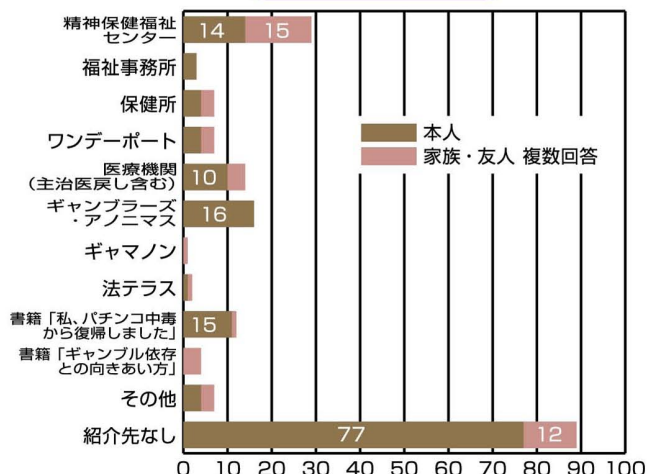
③性別

本人 n=134 (初回のみ)	
男性	113 (84%)
女性	21 (16%)
家族・友人 n=43 (初回のみ)	
男性	10 (23%)
女性	33 (77%)

④コーラーの年齢



③紹介先



③経路

経路	本人	家族・友人	総計
ホール内ポスター	59	7	66
新聞	1	0	1
インターネット	42	21	63
雑誌	6	1	7
他の相談機関	1	1	2
ホール貼付ステッカー	2	0	2
その他	18	9	27
不明・拒否	5	4	9
総計	134	43	177

⑤紹介先：「適度に遊ぶにはどう
 月類似する分布となりました。
 月比+16件)も目立ちます。昨年同
 相案件数の増加(今月合計29件、前
 寄せられました。また50代以上の
 では、20代からの相談が最も多く
 ④コーラー年齢：本人からの相談
 本人からは20代多く
 目立ちます。
 した。本人女性の件数の少なさが
 件)、女性33件(77%、+10件)で
 友人性別は、男性10件(23%、+5
 女性21件(16%、▲5件)、家族・
 113件(84%、前月比+17件)、
 ③性別：本人性別の内訳は、男性
 影響が挙げられます。
 ブル依存症」の記事が掲載された
 した理由として、全国紙に「ギャン
 家族・友人が増加
 +15件)でした。家族・友人が増加
 (+12件)、家族・友人43件(24%、

⑥経路：その他27件のうち、ホ
 ール配付ティッシュ経路が7件、ホ
 ール関係者からの紹介が3件、ホ
 ール折
 込みチ
 シ経路
 2件で
 た。ホ
 ルの取
 組みが
 がっさ
 りしてい
 ること
 を感じ
 ます。

ここ15年で最悪の業況

(株)エンタテインメントビジネス

総研はこのほど、第59回パチンコ景

気動向指数(DI)調査報告書(昨年

10~12月)をまとめた。収益・売上・

粗利などから判断される全般的業

況は、前回より32・6ポイントも大

幅に悪化したマイナス56・8ポイ

ントで、2000年6月の調査開始

以来最低の数字となった。また、第

47回調査(11年12月時点)以降13期連続マイナス圏で推移している。

事業規模別では、小規模事業者

(1~3店舗)がマイナス68・8ポ

イント(前回比33・8悪化)、中規模

事業者(4~10店舗)がマイナス

60・9ポイント(同34・2悪化)、大

規模事業者(11店舗以上)がマイナ

ス48・6ポイント(同33・8悪化)と、

全事業者で大きく落ち込んだ。(表1)

低貸し玉も下降線続く

パチンコの稼働状況はマイナス

55・4ポイント(同21悪化)、パチス

ロもマイナス41・9ポイント(同

11・3悪化)で、双方とも3期連続

で悪化した。(表2)

貸玉/貸メダル料金別の稼働状

況では、4円パチンコはマイナス

68・1ポイント(同20・6悪化)、20

円パチスロはマイナス50ポイント

(同8・1悪化)で、ともにマイナス

圏を続けてい

る。一方、昨年

3月時点でプ

ラス圏にあっ

た低貸パチン

コ・パチスロ

も以後は下降

線を辿り、低

貸パチンコは

マイナス12・

2ポイント

(同10・5悪

化)、低貸パチ

スロはマイナ

ス22・9ポイ

ント(同17・

4悪化)とな

っている。(表3)

女性管理職ゼロが42%

ポジティブ・アクション(企業に

おける女性活躍推進の取り組み)に

ちなんで、ホール職場で女性(アル

バイトと正社員)が占める割合を聞

いた。女性アルバイトでは「(40・1

%)~50%以下」の回答が22・9%

で最も高かった。しかし、女性正社

員では「10%以下」が29・2%と

最も高く、総じて「20%以下」だけ

で54・2%と半数を占めるなど、女

性正社員の割合は男性よりも大幅

に低かった。(表4)

女性管理職(本社の係長以上、ホ

ールの店長以上)の割合については

「0%」が41・7%あり、これを含め

て「5%以下」で73%を占めた。平均

では2・7%となり、厚労省「平成

25年度雇用平均等基本調査」での女

性管理職(係長担当職)の12・7%

に比べて大幅に低かった。2020

年までの見込みについても「わから

ない」が41・7%と、見通しの定ま

っていない企業が多かった。一方で

ポジティブ・アクションに「取り組

んでいる」と答えた企業は24・4%

あり、「今後取り組む予定がある」

(26・7%)を含めて5割に達する

表1 ●全般的業況・規模別

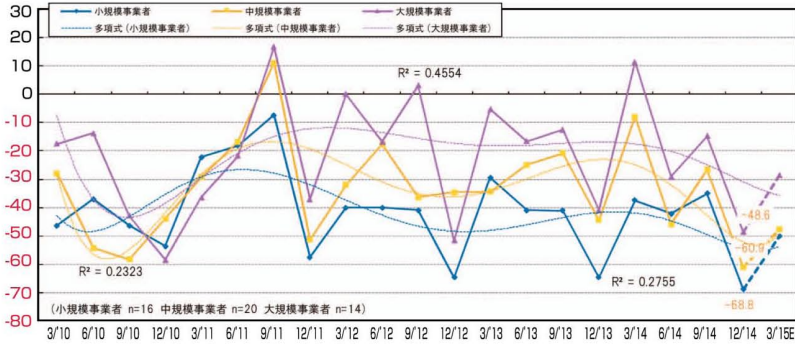


表2 ●稼働状況・パチンコ・パチスロ別

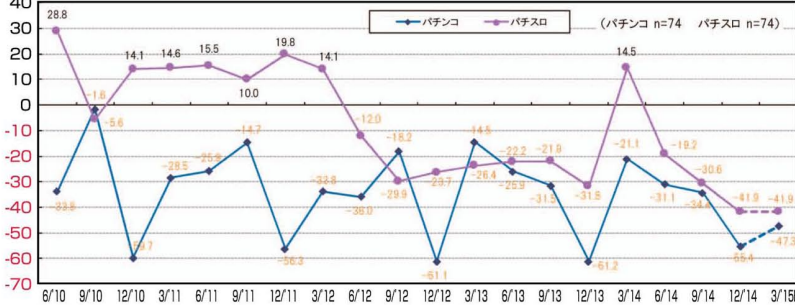


表3 ●稼働状況・貸玉料金別

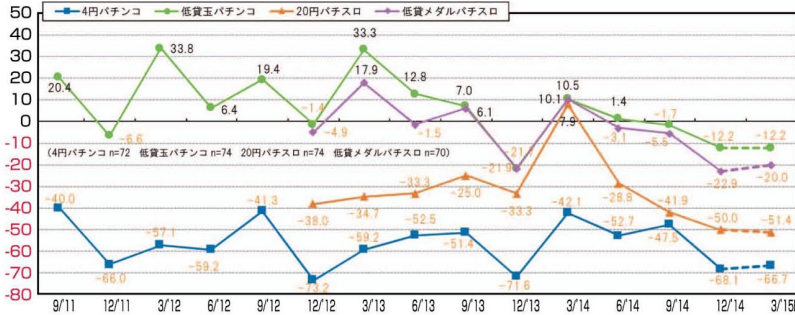


表4 ●女性の正社員とアルバイト

